

諸事雑感(1)

■市職員の給与水準

大阪市の職員厚遇問題を契機に公務員の厚遇批判、給与水準批判を耳にする機会が増えています。市と民間の給与にはどの程度、格差があるのでしょうか。以下、看護師を例に両者を比較します。

	中央病院勤務	全国
20歳代平均年収	491万1千円	約400万円
30歳代平均年収	522万1千円	約490万円
40歳代平均年収	878万1千円	約550万円
50歳代平均年収	988万8千円	約590万円

※中央病院勤務には助産師・准看護師・保健師も含む。金額は2005年予想額。
※全国平均は厚生労働省発表「賃金構造基本統計調査」2003年実績より算出。

■給与・人事制度の抜本的見直しを！

市職員の給与体系は職種に関わらず一律です。年功序列的要素が非常に強く個人の能力・努力はほとんど反映されません。結果、同年齢で最終学歴が同じであれば職種・やる気・能力に関わらず給与額はほぼ同等です。給与水準を適正に保つためには民間同業者との比較・検討を行いそれを加味した職種別の給与体系を作るべきです。また行き過ぎた年功序列を廃止し能力・やる気を評価する人事考課を行わなければなりません。職員のやる気を引き出し効率的な行政を実現するための施策を提案してまいります。

市政に対するご意見・ご要望をお持ちの方、どしどしご連絡ください！チラシの配達をご希望の方、お知り合いに配っていただける方のご連絡もお待ちしています。

西宮市議会議員

しづや祐介事務所

〒662-0927 西宮市久保町1-16-202 (阪神「西宮駅」から徒歩7分)
〒662-0854 西宮市榑塚町1-14光永ビル2F (JR「西ノ宮駅」・阪神「西宮駅」から徒歩10分)
TEL:0798-22-7895 FAX:0798-63-2167
E-mail: shibuya@hcc6.bai.ne.jp
URL: http://www.soushikai.gr.jp/shibuya/

プロフィール:昭和48年西宮生まれ。西宮市立浜脇小学校、浜脇中学校卒業。私立明星高等学校卒業後平成8年京都大学経済学部卒業。阪急電鉄(株)に8年間勤務、平成16年7月退職し蒼志会入り。平成16年11月西宮市議会議員補欠選挙にて初当選(1期目)。

諸事雑感(2)

■中学生の主張大会

9月2日開催の『第20回 西宮市「中学生の主張」大会』において各中学校から選抜された2年生20人が将来の夢や目標等について熱弁を振るい約800人の聴衆が聞き入りました。この大会を今以上に活用できないでしょうか。

■「主張大会」を「ディベート大会」に！

事前に設定された論題で肯定・否定に分かれ各々の立場から議論を行う。これを教育ディベートと呼びます。適切な指導を行いつつ実施することで論題の背景や相手の発言内容・意図を理解し分析する力や自らの発言を分かり易く説得力あるものにして伝える力を高めるとされています。

これらの力は現代において強く求められている力です。ディベート形式での各校予選・代表チームによる大会を実施し、その過程で生徒に適切な指導を行うことで、これらの力を磨くことができます。

中学生の主張大会をディベート大会に改めるのであれば新たな費用は発生しません。しかも教育上、大きな効果を発揮し大会を今以上に活用することが可能になります。

西宮を特色ある学校教育を行い文教住宅都市の名にふさわしいまちにするための提案を続けてまいります。

しづやの活動レポート

第4号

行動する政治
蒼志会

市政報告

2005.11.1発行



西宮市議会議員

しづや祐介

浜脇小卒
浜脇中卒
明星高卒
京都大卒
元阪急電鉄(株)勤務

私たちが暮らす、
西宮の未来のために。

■指定管理者制度の導入について審議しました

これまでは公の施設の管理運営は市が直営で行うか市の出資団体および公共的団体に委託することしかできませんでした。しかし指定管理者制度の導入によって、今後は民間事業者にも公の施設の管理運営を委託することができるようになります。来年4月に制度移行の期限を控え、今9月議会では厳しい審議が行われました。

指定管理者制度の導入は行政に欠けているサービス意識やサービスのノウハウ、経費節減意欲、施設が持つ魅力を高め、広報するノウハウ等の向上のために民間の力を活用することを目的としており、制度導入によって公サービスの水準向上が期待できます。ただし、これらの目的を達成するには意欲とノウハウを持った民間事業者が能力を発揮するための機会が必要です。そのため多くの施設において、公募・入札を実施することが求められます。ところが実際には公募が行われるのは指定管理者制度導

入の対象となる30種類205施設のうち、わずか7種類12施設のみ。大部分の施設についてはこれまでと同じ委託先に管理運営を委託する予定です。これでは指定管理者制度導入の目的を達成することは不可能です。市の制度導入に対する姿勢の問題点についてご報告します。

■浜脇育成センター(通称:浜脇学童)増築について

前回レポートでご報告しました浜脇育成センター増築の具体案が、ほぼ決定しました。校長先生・市担当者のご協力をいただき、保護者・指導員の皆さまの意見を大幅に反映して建設される新しい留守家庭育成センターは当初計画されていた施設とは大きく異なったものになります。市役所は市民に満足度の高いサービスを提供するサービス業者としての姿勢を持たなければなりません。こういった観点から今回の浜脇育成センター増築についてご報告します。

○<http://www.soushikai.gr.jp/shibuya/>もご覧ください。